

## 学校規模によるメリット・デメリット

学校の適正配置に関して都道府県・市町村が作成している計画等を参考に文部科学省において作成したものです。

小規模傾向にある学校		
場面	デメリット	メリット
学 習 活 動  指 導  面	① 集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。 ② 学級間の相互啓発がなされにくい。	① 児童生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。
	① 児童生徒数、教員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りにくい。 ② 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。	
	① 運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。 ② 部活動等の設置が制限され、選択の幅が狭まりやすい。	① 学校行事や部活動等において、児童生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。
生 活 面	① クラス替えが困難なことから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。 ② 集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。 ③ 切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい。	① 児童生徒相互の人間関係が深まりやすい。 ② 異学年間の縦の交流が生まれやすい。
	① 組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。	① 児童生徒の一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。
学 校 運 営 面	① 教員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスの取れた配置を行いにくい。 ② 学年別や教科別の教員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・切磋琢磨等が行いにくく、一人に複数の校務分掌が集中しやすい。	① 全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。 ② 学校が一体となって活動しやすい。
施 設		① 施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。
そ の 他	① P T A活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。	② 保護者や地域社会との連携が図りやすい。

大規模傾向にある学校			
場面			
	デメリット	メリット	
学 習 面	学 習 活 動	① 全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。	① 集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力をさらに伸ばしやすい。
	指 導		① 児童生徒数、教員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教育による指導など、多様な学習・指導形態を取りやすい。 ② 中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しやすい。
	集 団 活 動	① 学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しにくい。	① 運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい。 ② 様々な種類の部活動等の設置が可能となり、選択の幅が広がりやすい。
生 活 面	人 間 関 係	① 学年内・異学年間の交流が不十分になりやすい。	① クラス替えがしやすいことなどから、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい。 ② 切磋琢磨すること等を通じて、社会性や協調性、たくましさ等を育みやすい。
	指 導	① 全教職員による各児童生徒一人ひとりの把握が難しい。	① 学校全体での組織的な指導体制を組みやすい。
学 校 運 営	学 校 運 営	① 教職員相互の連絡調整が図りづらい。	① 教員数がある程度多いため、経験、教科、特性などの面でバランスの取れた教員配置を行いやすい。 ② 学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導についての相談・研究・切磋琢磨等が行いやすい。 ③ 校務分掌を組織的に行きやすい。
	施 設	① 特別教室や体育館等の施設・設備の利用の面から、学校活動に一定の制約が生じる場合がある。	
そ の 他		① 保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい。	① P T A活動等において、役割分担により保護者の負担を分散しやすい。